

コミュニティ・スクール はじめました

学校管理課 ☎224-6109
☎226-4699

芳野小・中学校運営協議会の様子

コミュニティ・スクールってなに？

学校運営協議会を設置した学校のことです。

学校運営協議会とは

教育委員会により任命された委員が、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。

学校運営協議会の主な役割

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができる

どんなことをするの？

年間3～5回の学校運営協議会を開催し、学校運営や学校課題解決のための「熟議(熟慮と議論)」を行います。扱うテーマは、学習習慣の定着・挨拶の徹底・防災・いじめ未然防止など学校課題等に応じてさまざまです。

子どもたちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子どもを育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有するために熟議を重ね、熟議で出したアイデアを実現させます。

モデル校の実践例



大東東小学校運営協議会学校
応援団による調理実習補助



川越第一中学校運営協議会
第1回学校・地域協働事業～防災見学会～

どう変わるの？

1. 組織的・継続的な体制の構築 = 持続可能性

校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域と組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「持続可能な仕組み」を構築できます！

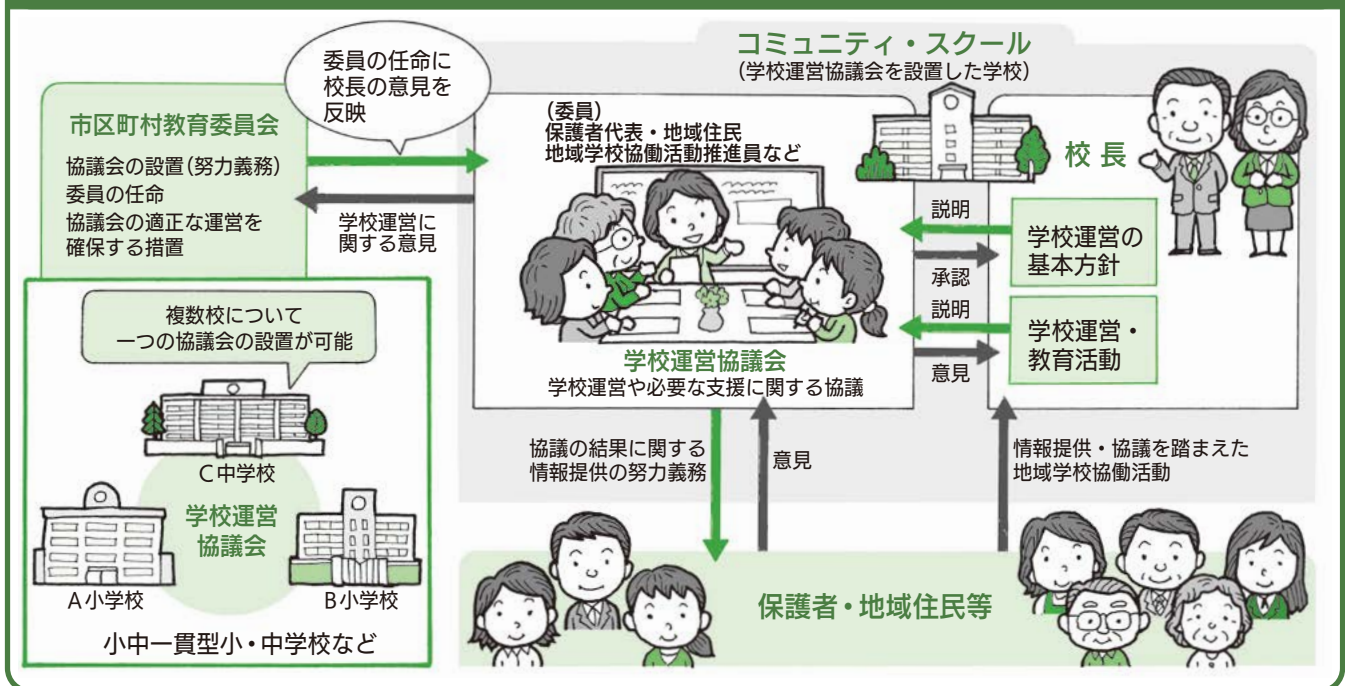
2. 当事者意識・役割分担 = 社会総掛かり

学校運営協議会や熟議の場を通して、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという「目標・ビジョンを共有」できます！

3. 目標・ビジョンを共有した活動 = 協働

学校運営の基本方針(目標・ビジョン)の承認や、学校運営・学校課題等についての熟議を通して、学校・地域・子どもたちが抱える課題に対して関係者がみな当事者意識を持つことで、「それぞれの実情に合った連携・協働」ができます！

コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置した学校)の仕組み



文部科学省「コミュニティ・スクールの作り方」を参考に作成

市では、令和2年度からいくつかの学校をモデル校として学校運営協議会を設置しました。

学校運営協議会委員の声

- 学校のために地域が何ができるかをより強く考えるようになった。
- 話を聞くだけの受け身であった学校評議員よりも、より意見を言える場である協議会であると思う。
- 学校と地域の関係づくりを一步進めることができた。
- 身近に学校の先生方と話ができるようになった。



令和5年度から全市立学校がコミュニティ・スクールになります。
学校と保護者・地域住民等が目標やビジョンを共有し、ともに知恵を出し合い、学校運営に地域の声を積極的に生かすことで、連携・協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を一緒に進めていきましょう！